

有屋さんさんクラブ（奄美市）

発表者：日 置 幸 男 氏

こんにちは。奄美市から参りました、有屋さんさんクラブの日置幸男と申します。

本日は、このような素晴らしい賞をいただくことになり、感無量です。

奄美では、お祝いには祝い唄から、三味の音に合わせて祝い唄を歌います。

「今日の誇らしゃや、いちよりも勝り、いちむくぬぐとぅに、あらしたぼれ」。「よいすら節」で上の句だけ、「今日の誇らしゃや、いちよりも勝り」をお祝い申し上げます。

「よいすら節」

今日の誇らしゃやヨイスラ

今日の誇らしゃやヨイスラ

いちよりも勝りスラヨイスラヨイ（拍手）

さて、私たちの有屋老人クラブは、昭和63年6月1日に発足しました。平成17年に「有屋さんさんクラブ」と改名して会員数80名、ただいまのところ男性33名、女性47名によって活動しています。

有屋さんさんクラブは、1つ、地域の融和と伝承活動、2つ、お互いの健康増進、3つ、ふれあい活動、4つ、スポーツと文化の交流を目的に、日々の活動に精励しております。

現在の有屋町は、旧集落の60戸余と、都市計画による新興住宅310戸余の合計370戸余の旧名瀬市のベッドタウンです。新旧の融和を図ることが一番の課題です。そのために、まず組織づくりからということになり、21世紀にちなんで、21



の世話役・班長で事の行事の推進を図ることになりました。

集う活動内容は、文化的活動では、島唄、八月踊り、日本舞踊、大正琴、軽体操、カラオケ等。2つ目、体育的活動では、グラウンド・ゴルフ、卓球、ウォーキング等です。

3つ目、ふれあい活動では、児童生徒との下校時のあいさつ活動、ラジオ体操、そして総会でのお楽しみ演芸会、遠足での他集落の老人会とのふれあい活動、町・地区・市の行事への参加、慰問、奄美警察署との協力等です。

文化活動の島唄では、月に2回、第2、第4の月曜日の午前10時から1時間半、部員15名で練習に励んでおります。そして、その成果をクラブの行事など、市の文化祭や慰問等で発表しています。今年の市の文化祭には、つい4日前、10月25日に奄美市の文化祭がありましたが、その文化祭に老若男女、有屋さんさんクラブのお年寄りの会員と小中学生の児童生徒とが一体になって、「渡しゃ」という島唄と、B E G I Nの「島人ぬ宝」を発表しました。

八月踊りは第2、第4の水曜日に、8時から練習しております。町内の踊りや、市の夏祭りに出演しています。節踊りは2日にまたがって、三味線、太鼓に合わせて夜中まで乱舞しました。

体育的活動のグラウンド・ゴルフは3グループがあって、毎週月曜日から土曜日まで、朝方のチーム、午後方のチーム、それぞれ練習をしています。今年は県体で2人が活躍しました。これまでに、数々の団体優勝や個人優勝をしています。

ふれあい活動の「遠足」は、有屋さんさんクラブの目玉商品です。3年前から、他集落の老人クラブとの交流遠足をしている



ことです。一昨年は、大和村名音集落の老人会、去年は龍郷町円集落の老人会との交流、そして今年は、笠利町宇宿の喜楽会の老人会との交流をしてみました。

今年度の遠足は、午前10時からグラウンド・ゴルフをして、12時から合同昼食会、そして午後1時から文化的ふれあい活動、



島唄、日本舞踊、軽体操、カラオケ、そして八月踊り等で楽しいひとときを過ごしました。このような遠足の事例は、ほかでは余り例が無いのではないかなと自負しております。

児童生徒とのふれあい活動では、毎週火曜日と金曜日にスクールガードの帽子をかぶり、腕章をつけて下校の安全指導とあいさつ運動を実施しています。「お疲れさん」「頑張ったね」



と声かけですね。喜ばれています。

また、夏休みのラジオ体操では、NHKの朝のラジオ体操の音楽に合わせて、児童生徒とともに、元気じいさん、元気ばあさんによるふれあい活動をしてみました。

このようにして、有屋さんさんクラブ会員は、それぞれのパートで各自「自分が主役」の活動を通して、日々を楽しく過ごしている現状です。これからも、ふれあい活動を通して、さらに有屋さんさんクラブが前進していくように頑張っていきたいと思います。

事例発表を終わります。(拍手)